

取扱説明書



UBCBW35
ブースター増幅部
屋外(内)用



ブースター電源部(BPS6WB)
屋内用(屋外で使用しないでください)

UHF・BS・CS BOOSTERS
増幅チャンネル
UHF ch.13～52・BS・110℃S

UBCBW35 35dB型 SH JEITA

UBCBW41 41dB型 SH JEITA

4K8K DIGITAL デジタル放送対応 **F型端子**

3224MHz対応
スカパー!対応

FM・VHF、スカパー!プレミアムサービス、CATVには使用できません。

付属品
F型コネクター(50ケーブル用)..... 5個
防水キャップ(大)..... 3個

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。
- ブースター電源部に関しては、裏面をご覧ください。

4K8K 4K・8K放送を、より高画質で見るために、4K・8K放送の伝送周波数帯域に対応した製品にマスプロ電工が表示しているマークです。

DIGITAL 携帯電話や無線通信などとの混信、電波障害を抑制するために、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

SH SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

各部の名称と機能

UBCBW35、UBCBW41とも名称と機能は同じです。(ふたを開けた状態で説明しています)

ふたの開閉について

- ふたを開けるときは、ふた固定ビスをゆるめてから、手前に引上げてください。
- ふたを閉めた後は、必ず手で、ふた固定ビスをしっかりと締付けてください。

利得調整

- レベルチェッカーなどを出力測定端子に接続し、「規格表」(右下記載)の定格出力レベルを超えないように、出力レベルを調整します。
- 出力レベルを「0～①0dB」の範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「MIN.」になっています。

UHF入力レベル調整スイッチ

- UHFの入力レベルが低い場合、「0dB」にします。
- 出荷時は「①0dB」になっています。

BS・CS入力レベル調整スイッチ

- BS・CSの入力レベルが低い場合、「0dB」にします。
- 出荷時は「①0dB」側になっています。

UHF給電スイッチ

- UHF入力端子に、別売のUHFラインブースターを接続する場合、「ON」にします。(電流容量 最大0.1A)
- 出荷時は「OFF」になっています。

壁面取付用木ねじ

壁面に取付ける場合に使用します。

UHF入力端子

- UHFアンテナからのケーブルを接続します。
- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

BS・CS入力端子

- BS・110℃Sアンテナからのケーブルを接続します。
- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

出力測定端子(②0dB)

- レベルチェッカーなどを接続して、出力レベルを測定できます。(測定値+20dB=出力レベル)
- 測定する場合、防水キャップ(小)、メタルキャップを取外してください。
- 測定後は、必ずメタルキャップ、防水キャップ(小)を取付けてください。
- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

電源(増幅部作動)表示灯

増幅部の作動時は「緑」に点灯します。

ふた固定ビス

ふた

UBCBW35
ブースター増幅部

出力端子(DC15V受電端子)

- 電源部の入力端子からのケーブルを接続します。
- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

ご注意

測定後は、必ずメタルキャップ、防水キャップ(小)を取付けてください。メタルキャップを取付けないと、出力測定端子から電波が漏えいし、障害が発生する場合があります。また、防水キャップ(小)を取付けないと、雨水が入り、故障の原因となります。

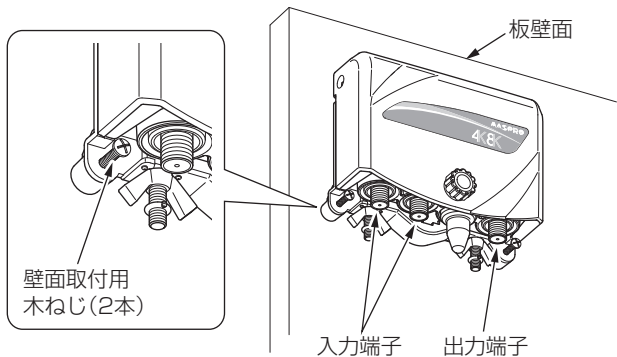
取付方法

ご注意

- 入力端子・出力端子が下側になるように取付けてください。
- ふたをしっかりと閉めてください。

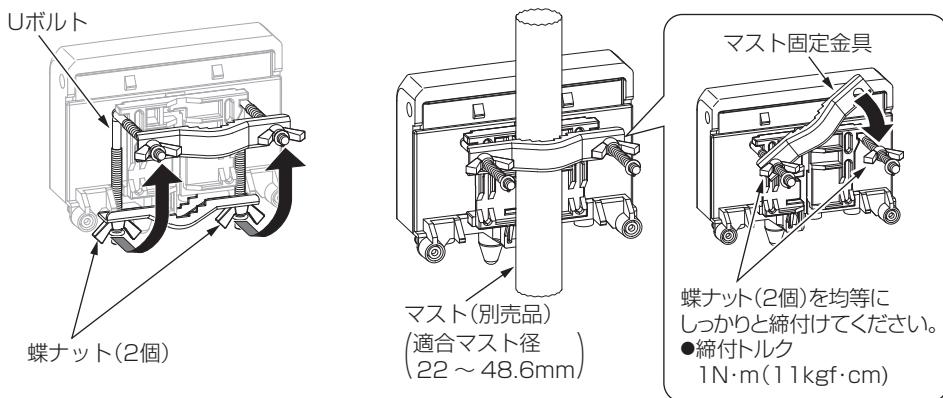
板壁面

ドライバーで、増幅部に付いている壁面取付用木ねじ(2本)を板壁面にねじ込みます。



垂直のマスト

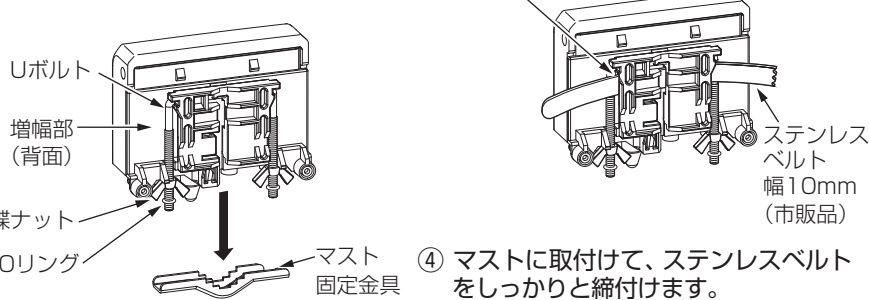
- ① 蝶ナット(2個)をゆるめて、Uボルトを起こします。
- ② 蝶ナット(2個)を指定のトルクで締付けて、マスト固定金具でマストに固定します。



48.6mm以上のマストのときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。(市販のステンレスベルトの取付方法は、ステンレスベルトの取扱説明書をご覧ください)

- ① マスト固定金具、Oリング、蝶ナットを取外します。
- ② 蝶ナットとOリングをUボルトに取付け、蝶ナットを増幅部に押し付けるように締付けて、Uボルトを固定します。
- ③ 市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。
- ④ マストに取付けて、ステンレスベルトをしっかりと締付けます。

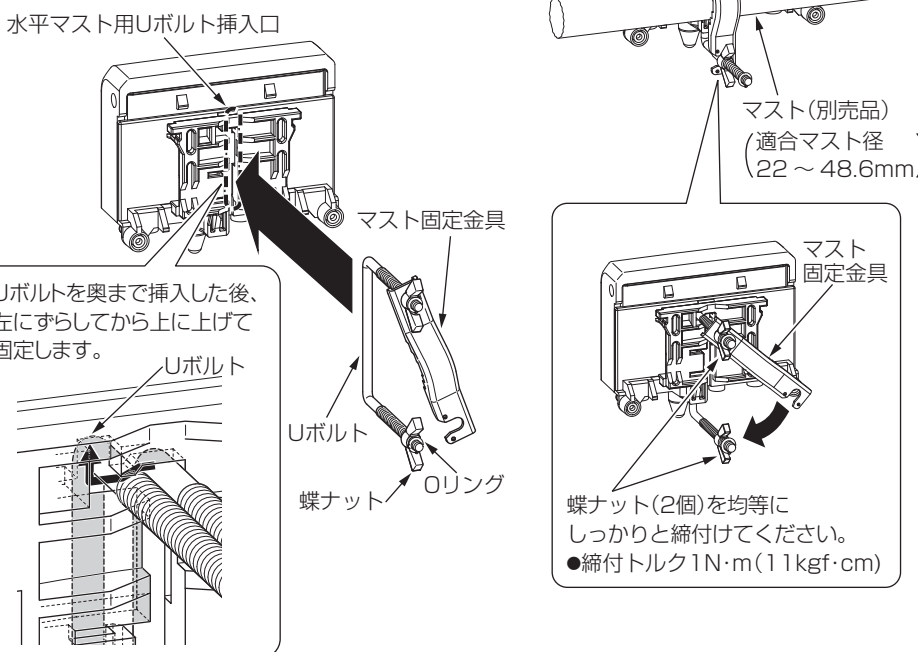


水平(横方向)のマスト

ご注意

- 入力端子・出力端子が垂直になるように取付けてください。
- ステンレスベルトを使って水平(横方向)のマストに取付けることはできません。

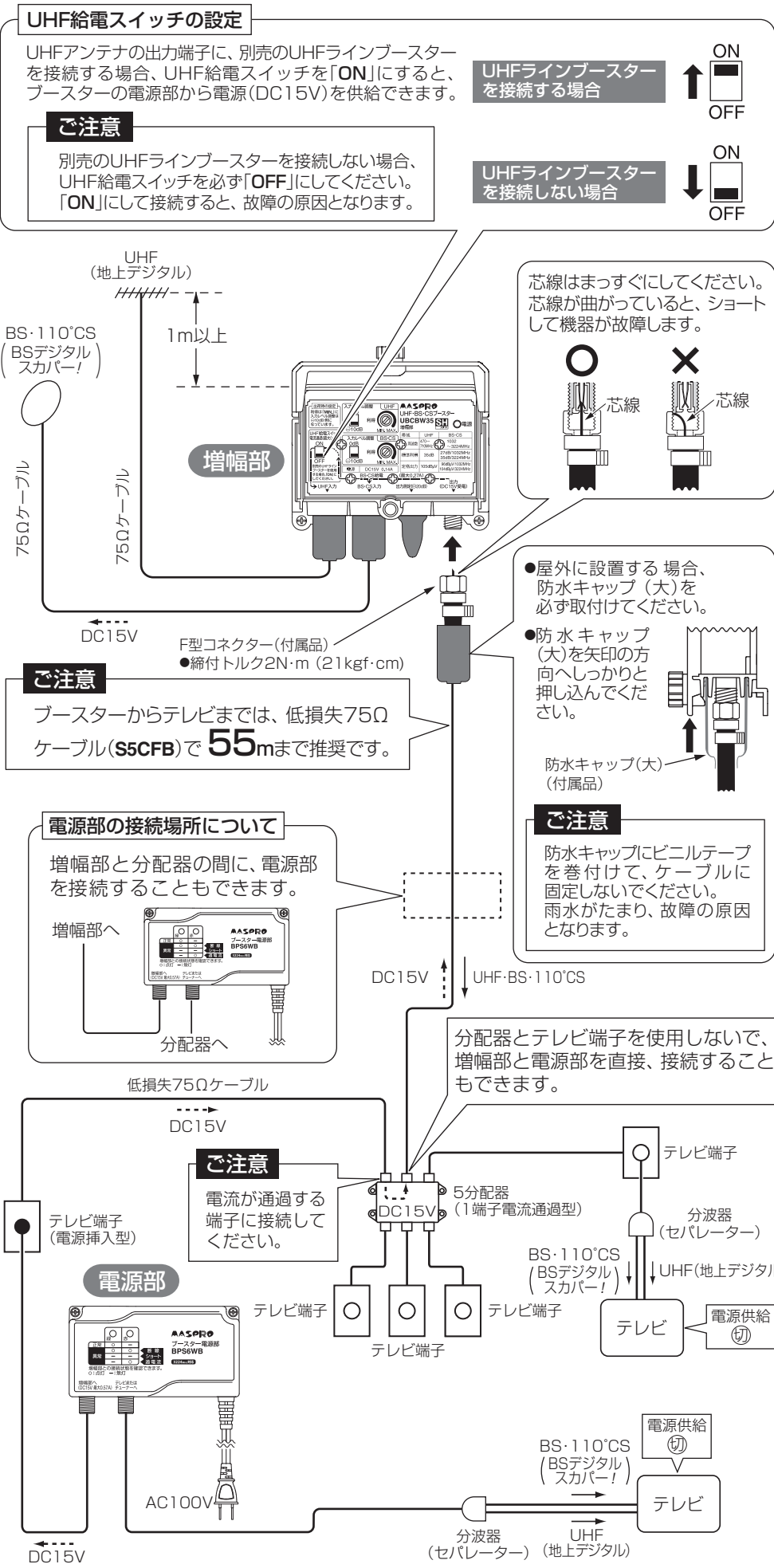
- ① Uボルト、マスト固定金具、蝶ナット、Oリングを取外します。(Uボルトは、抜け防止のため、外れにくいことがあります。)
- ② 再び、Uボルト、マスト固定金具、蝶ナット、Oリングを組付けて、Uボルトを水平マスト用Uボルト挿入口に挿入します。
- ③ 蝶ナット(2個)を指定のトルクで締付けて、マスト固定金具でマストに固定します。



接続例（増幅部の出力を5分配する場合）

ご注意

- ACプラグ(AC100V)は、設置工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。
- UHFアンテナと増幅部は、1m以上離してください。アンテナの性能が劣化したり、ブースターが発振して受信障害となったりすることがあります。
- 増幅部は、できるだけアンテナの近くに設置してください。増幅部は、信号だけでなく雑音も増幅しますから、増幅部の入力レベルが低いと、ブースターの効果を充分に発揮できません。
- 増幅部と電源部の間で使用する分配器は、1端子電流通過型をおすすめします。全端子電流通過型を使用する場合、電圧降下の影響で配線距離を短くしなければなりません。
- 4K・8K放送を伝送する場合、4K・8Kに対応している機器、ケーブルを使用してください。



デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、信号品質(C/N比)の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

ブースター取付後は定期的に点検してください

- マストやアンテナ・ブースターの取付状態、ケーブルの劣化・破損などを定期的に点検してください。また、台風や大雪の後には、必ず点検してください。
(経年変化や強風などによって、マストやアンテナが傾いたり倒れたりすることがあります。)
- マストやアンテナ、ブースターの取付状態に異常があった場合、ただちにブースター(電源部)のACプラグをACコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

マストが倒れていませんか

アンテナが外れていませんか

調整方法

ご注意

実用入力レベルを超えた状態で作動させておくと故障の原因となります。実用入力レベルの範囲内になるように調整してから、本器に電源を供給してください。

1.入力レベルの確認

アンテナからのケーブルをレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーに接続して、入力レベルが下記の実用入力レベルの範囲内になっているか確認します。

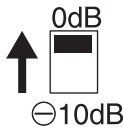
実用入力レベル(最小入力レベル～最大入力レベル)	
UHF	BS・CS
UBCBW35 :41 ～ 68(88)dBμV	46 ～ 66(86)dBμV
UBCBW41 :41 ～ 62(82)dBμV	

()内は利得調整を「MIN.」(利得調整を(左)へいっぱいに戻した状態)にし、入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの最大の実用入力レベルです。

入力レベルが最小入力レベルより低い場合

入力レベル調整スイッチを「0dB」にして、以下の方法を行なってください。

- ① アンテナの方向を調整する。
- ② 高利得なアンテナに取換える。
- ③ ケーブルをできるだけ短くする。



入力レベルが最大入力レベルより高い場合

入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし、利得調整を「MIN.」にしてください。

- それでも最大入力レベルを超えている場合、入力端子側に別売のアッテネーターを接続して、最大入力レベル以下になるようにしてください。



2.出力レベルの調整

- ① UHF入力端子、BS・CS入力端子にアンテナからのケーブルを接続します。
- ② 出力端子に電源部の入力端子からのケーブルを接続します。
- ③ 電源部のACプラグをACコンセントに差込みます。
 - 増幅部および電源部の電源表示灯が「緑」に点灯していることを確認します。
- ④ 出力測定端子にレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーを接続します。
- ⑤ 出力レベルを測定して、利得調整で調整します。(出荷時の設定:「MIN.」)
 - 測定値に20dBを加えた値が実際の出力レベルです。

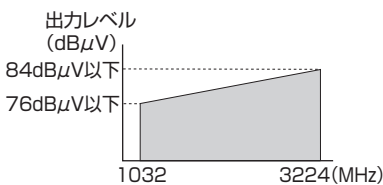


UHFの調整

出力測定端子のレベルが、85dBμV以下になるように、利得調整で調整します。

BS・CSの調整

出力測定端子のレベルが、1032MHzで76dBμV以下、3224MHzで84dBμV以下になるように、利得調整で調整します。



規格表

AASPRO		
項目	規格	
伝送周波数帯域	470 ～ 710MHz (UHF ch.13 ～ 52)	1032 ～ 3224MHz (BS・CS)
利得	UBCBW35 :32 ～ 37dB UBCBW41 :38 ～ 43dB	24 ～ 30dB/1032MHz 32 ～ 38dB/3224MHz
入力レベル調整	0、⊖10dB切換	0、⊖10dB切換
利得調整範囲	0 ～ ⊖10dB以上(連続可変)	0 ～ ⊖10dB以上(連続可変)
雑音指数	1.5dB以下	6dB以下
実用入力レベル	UBCBW35 :41 ～ 68dBμV (88dBμV ※1) UBCBW41 :41 ～ 62dBμV (82dBμV ※1)	46 ～ 66dBμV (86dBμV ※1)
定格出力レベル	105dBμV (9波)	96dBμV/1032MHz 104dBμV/3224MHz (50波)
相互変調(IM ₂)	—	⊖31dB以下
相互変調(IM ₃)	⊖68dB以下	⊖61dB以下
VSWR	3以下	2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω (F型端子)	
出力測定端子結合量	⊖20dB	
増幅部電源	DC15V 0.14A(0.41A※2、0.51A※3)	
消費電力	3.9W/8.2VA (8.8W/16.4VA※2、10W/19.4VA※3)	
使用温度範囲	⊖20 ～ ⊕50℃	
外観寸法	87(H) × 113(W) × 54(D)mm	
質量(重量)	約320g	

※1 入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし、利得調整を「MIN.」にしたときの最大の実用入力レベルです。
※2 BS・110°CSアンテナ4W給電時
※3 UHF給電0.1A、BS・110°CSアンテナ4W給電時

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

DC POWER SUPPLIES

伝送周波数帯域 10 ～ 3224MHz

BPS6WB

BPS6W

DC15V 0.57A

4K8K

DIGITAL

デジタル放送対応

F型端子

3224MHz対応

BPS6W 付属品

F型コネクタ……… 2個
(5Cケーブル用)

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

4K8K

DIGITAL

デジタル放送対応

4K・8K放送を、より高画質で見るために、4K・8K放送の伝送周波数帯域に対応した製品にマスプロ電工が表示しているマークです。

携帯電話や無線通信などとの混信、電波障害を抑制するために、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

各部の名称と機能

BPS6WB、BPS6Wとも名称と機能は同じです。

BPS6WB

壁面取付用木ねじ

電源(電源部作動)表示灯(緑)

電源(電源部作動)表示灯(赤)

入力端子

出力端子

ACコード (約1m)

ご注意

壁面に取付ける場合に使います。

電源を供給している機器(ブースター増幅部など)との接続状態を表示灯の点灯でお知らせします。(異常お知らせ機能)

電源(電源部作動)表示灯(赤)

●ブースター増幅部やアンテナの出力端子からのケーブルを接続します。

●ブースター増幅部やアンテナに電源を供給します。

●締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

壁面に取付ける場合に使います。

ACプラグ(AC100V)は、設置工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。

取付方法

据置き

電源(電源部作動)表示灯を上側にして、テレビラックの上などに横置きにします。

板壁面

ドライバーで、ブースター電源部・電源供給器に付いている壁面取付用木ねじ(2本)を板壁面にねじ込みます。

ご注意

●ブースター電源部・電源供給器をラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースター電源部・電源供給器を離してお使いください。

●ブースター電源部・電源供給器は、温度が上昇しないように、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

●ブースター電源部・電源供給器は、屋外で使用しないでください。

●4K・8K放送を伝送する場合、4K・8Kに対応している機器、ケーブルを使用してください。

電源(電源部作動)表示灯

板壁面

壁面取付用木ねじ(2本)

F型コネクターの取付方法

F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

●接触不良やショートを防ぐため、コネクタはていねいに取付けてください。

●75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。

●付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

①ケーブルを加工します。
(加工寸法は原寸大です)

②プラグを取付けます。

③かしめ用リングをペンチで圧着します。

完成図

芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線は、まっすぐにしてください。

あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。

あみ線 芯線

あみ線(編組)を折返す

アルミ箔

プラグ

かしめ用リング

芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために、必ず取除いてください。

芯線の先を斜めに切断してください。

9mm

4mm

75Ωケーブル

芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために、必ず取除いてください。

かしめ用リング

完成

ケーブル

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

芯線

芯線

③かしめ用リングをペンチで圧着します。

プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着します。

1mm以下

かしめ用リング

完成

ケーブル

完成図

2mm

芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

芯線

芯線

異常お知らせ機能について

設置工事がすべて終了したら、ACプラグをACコンセントに差込んで、ブースター増幅部またはアンテナとブースター電源部・電源供給器の接続状態を電源(電源部作動)表示灯で確認します。

電源(電源部作動)表示灯(緑)

電源(電源部作動)表示灯(赤)

異常のときは

① ACプラグをACコンセントから抜いてください。

② 下表を参考に、原因を取除いてください。

③ ACプラグをACコンセントに差込んでください。

ご注意

電源(電源部作動)表示灯は、ブースターまたはアンテナとブースター電源部・電源供給器の接続状態を表示するもので、テレビ信号の状態を表示するものではありません。

表示灯		作動状態	原因	処置
緑	赤			
点灯	無灯	正常	—	—
点灯	※	断線(異常)	ブースターまたはアンテナに電源が供給されていない。	●F型コネクタの芯線が短くないか確認してください。

●ブースターまたはアンテナとブースター電源部・電源供給器の間でケーブルが断線していないか確認してください。

●ブースターまたはアンテナとブースター電源部・電源供給器の間に、電流通過しない機器が接続されていないか確認してください。

※ブースターまたはアンテナとブースター電源部・電源供給器を接続しないで、ACプラグをACコンセントに差込むと、断線と判断して、緑と赤の表示灯が点灯しますが、本器の異常ではありません。

規格表

項目	規格
伝送周波数帯域	10 ～ 3224MHz
入力電圧	AC100V 50・60Hz
出力電圧(電流)	DC15V(最大0.57A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型端子)
挿入損失	2dB以下
VSWR	2以下
使用温度範囲	⊖10 ～ ⊕40℃
外観寸法	56(H)×105(W)×34(D)mm
質量(重量)	約185g

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。
	⊘記号は、禁止の行為を示しています。
	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

	●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して、火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●ブースター増幅部および電源部、電源供給器の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。 ●ブースター電源部、電源供給器は、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。 ・押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。 ・布や布団でおおったり、包んだりする。
	●ブースター増幅部および電源部、電源供給器のケースを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースター増幅部および電源部、電源供給器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。
	●ブースター電源部、電源供給器を、風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●ブースター電源部、電源供給器に水をかけたり、濡らしたりしないようにしてください。ブースター電源部、電源供給器の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が、電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	●濡れた手で、ACプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	●雷が鳴出したら、ブースター増幅部・電源部、電源供給器およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。
	●万一、ブースター増幅部および電源部、電源供給器の内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。 ●万一、ブースター増幅部および電源部、電源供給器を落としたり、ケースを破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音声が出ないなどの症状があるときも、テレビと共に電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
	●ブースター増幅部および電源部、電源供給器は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと一緒に合わせて使用しないでください。火災の原因となります。 ●ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

注意

	●ブースター増幅部および電源部、電源供給器は、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ブースター増幅部および電源部、電源供給器は、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けしないで、壁面取付用木ねじでしっかりと取付けてください。 ●ブースター増幅部および電源部、電源供給器は、温室やサニールームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。 ●ACコードは、結んだり、束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。 ●腐蝕が進んで劣化したブースター増幅部の取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害を与える原因となることがあります。ブースター増幅部の取付金具は、定期的に点検してください。
	●ブースター電源部、電源供給器を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。 ●お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。 ●旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 ●雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。 ●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
	●ブースター増幅部を取付けるときは、落下防止のため、ネットを張ったり、ブースター増幅部や工具を固定物にひもで結んだりするなどの安全対策をしてから作業してください。 ●ブースター増幅部のケース・取付金具・マストなどに異常があったり、蝶ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は必ず点検してください。ブースター増幅部が破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、ケースや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。
	●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから販売店にご相談ください。

使用上のご注意

発振防止のために

ブースターは、ケーブルの配線方法を誤ると「発振」して、きれいなテレビを見ることができなくなります。ブースターが発振すると、妨害電波を発射して、周辺の家庭にも大変な迷惑をかけます。たった1台からの発振が、3,000世帯のテレビ画像に妨害をおよぼしたり、携帯電話などへの妨害で、通信ができなくなった例もあります。この「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

発振とは

ブースターで増幅されたテレビ信号の一部が入力側に戻り、更に増幅され強力な妨害電波を発生する現象です。例えば、スピーカーにマイクを近づけると、「キーン」という音がします。これも一種の発振現象です。

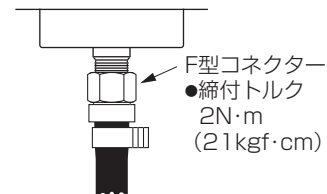
正しい取付方法

●入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。

正しい配線方法	悪い配線例

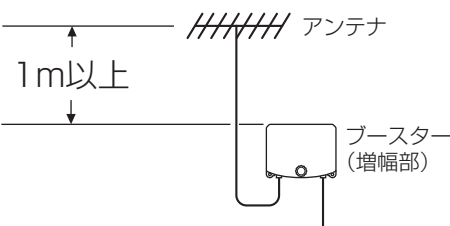
●入力端子・出力端子の接続は、取扱説明書にしたがい、確実に行なってください。

接続するF型コネクターを指定のトルクで締付けてください。



●マストに取付ける場合、アンテナとブースターの間は、1m以上離してください。

接近しすぎるとブースターが発振して、受信障害になることがあります。



保証書

保証書

UHF・BS・CSブースター MODEL ☐UBCBW35 ☐UBCBW41

電源供給器 MODEL ☐BPS6W

(お買上げの製品の型名にチェックを入れてください。)

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	
様	
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効となります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

○ [ご使用になる前に]や「取扱説明書」などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。

○ 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。

・ 本書のご提示がない場合。 ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。 ・ 本書の字句を書換えられた場合。 ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。 ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。	・ 不当な修理や改造による故障および損傷。 ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。 ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。 ・ 一般家庭用以外(例えば車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。 ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。
---	---

○ 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80

営業部 TEL名古屋(052)802-2244

受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

だ・から eco 環境負荷物質を抑制 特定有害物質使用規制(RoHS指令)対応



技術相談

0570-091119

※IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366

受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)